

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

20

アイデアを
お待ちしております!

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております!

「Hiraku」編集部

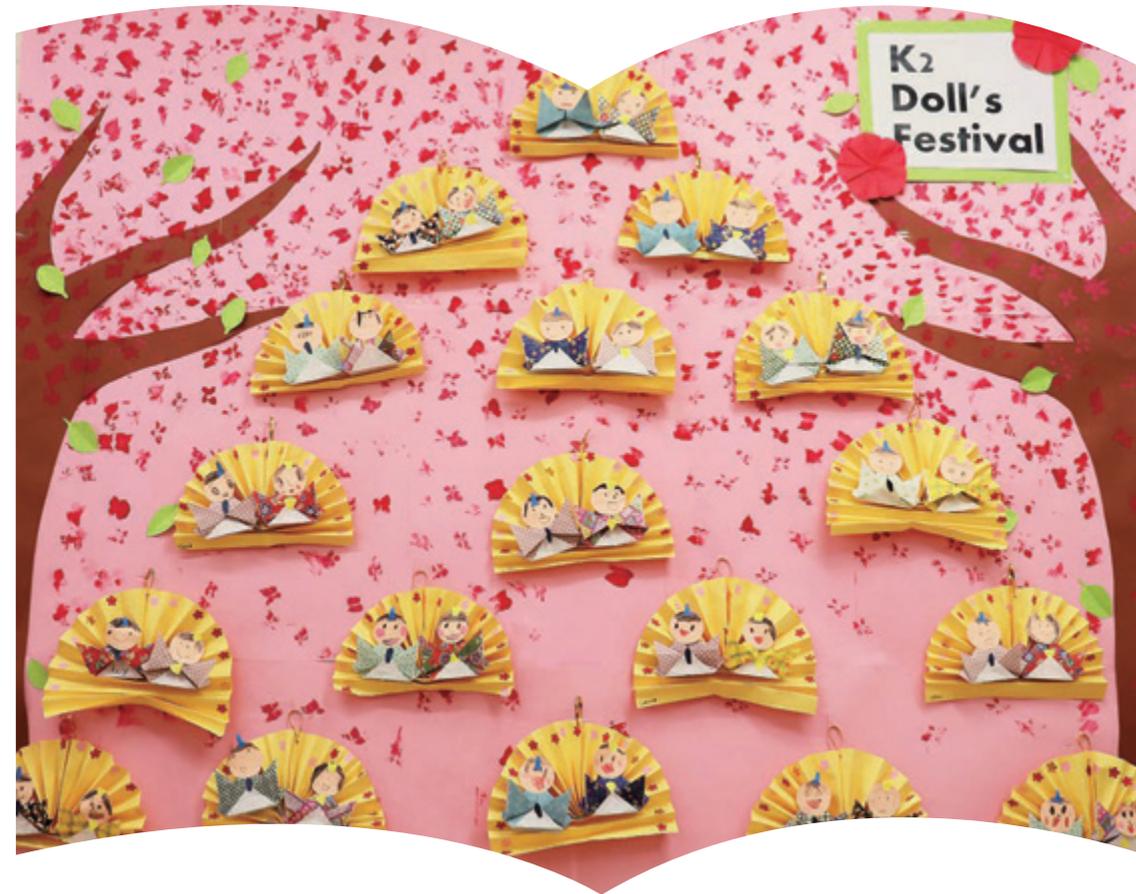
TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

[訂正とお詫び]

Hiraku19号にて、フォニックスキャラクター
リニューアルについてお伝えしましたが、新
キャラクターへの変更は2023年度に延期と
なりました。

訂正してお詫びいたします。



Hirakû

2022年3月発行 Vol.20

次回 5 月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

☎ 530-0033 大阪市北区池田町 3-1

ぶらら天満ビル 2F

www.kinderkids.com

名古屋ノリタケ校がよいよ開校! ひと & カルチャー
KINDER KIDS 作品コンクール

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.





Nagoya Noritake School



名古屋ノリタケ校が開校!

2022年2月、いま注目が集まっているノリタケの森地区に、名古屋で2校目となるキンダーキッズインターナショナルアカデミー名古屋ノリタケ校が開校しました。昨年夏より開始した説明会は毎回大勢の方にご参加いただき、皆様の関心度を実感いたしました。

1階フロアには保育室やジム、kinderkids phonics Gardenをイメージしたお部屋があり、2階には思いっきり身体を動かせる屋上園庭があります。

2月開校時はBabyクラス、Nurseryクラス、Toddlerクラスの3学年でスタートし、4月からはキンダー1(年少)クラスが加わり4学年となりスクールは更に賑やかになります。

新しいお友だちに会える日をみんな心待ちにしています。

ピカピカのスクールで新鮮な思い出をたくさん作りましょう!

文化と自然に囲まれた、名古屋の注目スポット「ノリタケの森」

「文化と出会い、森に憩う」をテーマに作られたノリタケの森。緑に包まれたせせらぎやピオトープなど豊かな自然環境の中に、明治～昭和期に製造された陶磁器を展示しているミュージアム、様々なアーティストの陶芸、絵画、彫刻などを展示したギャラリー、創作フレンチのレストランやカフェなど、文化的な施設も充実。ゆったりとした時間が流れる…そんな「都会のオアシス」の一角で、名古屋ノリタケ校は開校しました。



明治期の赤レンガ建築が残る歴史的・文化的な環境



すぐ近くに大型ショッピングモールがあってお買い物も便利

マルチリンガル教育 キンダーキッズ インターナショナルアカデミーとは?

英語はもちろん、日本語と中国語を学び、3か国語を話す「マルチリンガルの育成」が最たる特徴です。

女性の社会進出が進み、共働きでお忙しい保護者の皆さまに「もっと便利で充実したサービスを」という想いからアカデミーは生まれました。全クラスが、週5日登園、基本ロングコースのお預かりでお休みも少なく、プロ講師による体操クラスに知育クラスなど多彩なプログラムが保育に含まれています。また、お布団・おむつサービス「らくらく登園」が導入されています。

設立から20周年を迎えた2020年4月にキンダーキッズ インターナショナル アカデミーを大阪市に2スクール開校しました。名古屋ノリタケ校は、3スクール目のアカデミー校となります。



施設長 尾嶋 純奈

名古屋校の知り合いの方から口コミを聞いた方や卒園生のご兄弟の方など、開校前から非常に多くの方が当スクールに興味を持ってくださり、本当に感謝しております。子どもたちが、貴重な思い出をたくさんつくり、名古屋ノリタケ校に通って本当によかったと心から思っていただけのようにスタッフ一同、日々努めてまいります。

HP



Facebook



名古屋市西区則武新町 3-1-153号



007 Christine Portelli

マルタ共和国・ゴゾ島

西宮校 キンダー3クラス担任

歴史に輝く小さな島

地中海に浮かぶ3つの島からなるマルタ共和国。私の故郷ゴゾ島には、多くの物語が詰まっていて、その歴史と自然が息づく美しい景色がいつも周囲にありました。

エジプトのピラミッドよりも古い巨石神殿「ジュガンティーヤ」や、伝統的な建築様式が融合し、室内の設えも芸術的な「タ・ピーヌ教会」など…ぜひ訪れてみてください。隣のコミノ島には、人里離れた場所に「ブルーラグーン」と呼ばれる有名なビーチがあります。ブラッド・ピット主演の映画「トロイ」のロケ地としても知られ、透き通った青色と白砂の美しさで世界中の観光客を魅了し続けている、必見の地です！



親子の心紡ぐラザーニャ物語

母が特別な日に作ってくれた「ラザーニャ」。そして、母が私のために最期に作ってくれた料理もラザーニャでした。

パスタの生地やホワイトソースも全てイチからで、手間暇かけて作る愛情いっぱいの料理です。私も一緒に生地をこねたり、ソースをかき混ぜたりしたことを覚えています。そうした時間、さまざまな話をし、悩み相談もし、親子の絆が深まる大切なひとときになっていました。ラザーニャを作っていると、子ども心を思い出します。母が料理をしているキッチン。その椅子にすわって生地をこねようとしている小さい女の子の姿を思い浮かべて懐かしみ、食べれば、温かく親しみ深い味に癒やされるのです。



おしゃべり好きなバイリンガル国

マルタ全体の国民性は、とても温かくてフレンドリーです。話すときは、身ぶり手ぶりを交え自己表現が豊か。みんなで会話を楽しむことが好きな人々です。言葉は、英語とマルタ語(英語とイタリア語、アラビア語が混ざり合ったもの)の両方を使います。

こうした成育環境での体験と大学で勉強した心理学を肥しに、仕事に励んでいます。学生時代には、有志の仲間とライターズサークルを立ち上げ、執筆活動にも取り組んでいました。マルタの有名作家を招いての講演会に会議、コンテストと充実した日々を送っていました。

いま、子どもたちに、英語スキルだけでなく他者と共感し合える素晴らしさを教え、心の知能指数を高められるようなアプローチをしています。



008 Sulaymane Sillah

アメリカ合衆国・ワシントンD.C.

大阪本校 オペレーションズ マネージャー

米国首都ワシントンから来ました

アメリカは、南へ行っても北へ行っても、人々を結びつける独特のムードがあります。何十万人が集まるストリートに、高級なショッピング街やスポーツスタジアム。豊かな文化を中心に人種を超えた一体感が生まれています。みんなで美味しい料理をいただきながら一緒に笑い、音楽でつながる世界。チャック・ブラウンがワシントンで誕生させた音楽、エネルギッシュなゴーゴーのリズムに、いつもルーツを感じています。



向上心は未来を切り拓く

日本に移住し、仕事を始めてからしばらくは、仕事ばかりに没頭していました。朝早くに起床してあという間に一日が終わり、帰宅して眠るサイクルの繰り返しでした。日本での暮らしにも慣れてきた頃、生活に張り合いをもたせようと思い、「詠春拳」を始めました。ハリウッド映画のアクションでもよく見られる中国武術です。続けてもうすぐで7年目に。今では自身のスタイルを追求しながら、尊敬する師父の知識や技術を生徒に伝えています。

日本との出会い

私は学生時代、どんな人間になりたいかを模索し、成長できる場を探しながらとてもアグレッシブに活動していました。そして、色々な生き方や考え方を知って「もっと人生観を広げたい!」「自分がなり得るものを見つけたい!」という思いに駆られて世界へ飛び出しました。旅の途中、日本で働いていた外国人とゲストハウスで出会い、彼からチャンスをもたらったことをきっかけに、ずっと大切にしたいと思える国・日本と仕事に巡り合えたことは、運命的でした。

「プリン」じゃない! パナナ「プディング」

アメリカの家庭で定番のスイーツと言えば「バナナプディング」。私は子どもの頃、祖母に作ってもらって食べたのが最初で、それ以来ずっと大好物。愛してやまないソウルフードです。ぜひ皆さまのご家庭でも、バナナプディングを作って召し上がってみてください!



QRコードからYouTubeで公開されているレシピ動画にアクセスします(2021年11月時点)

KINDER KIDS 作品コンクール 2021



審査基準

- *文章から子どもの素直な心が感じ取れる
- *経験を通して感じたことが表現できている
- *書いた子どもに会ってみたいくなる

2021年度はキダーキッズ主催の作品コンクールを開催いたしました。全23校からキダーキッズの子どもらしい沢山の絵日記や作文と、保護者の方のつぶやき作品の参加もいただきありがとうございました。

その中でも子どもならではの視点で素直な表現が詰まった優秀作品を4点を紹介します。恒例の“はばたき賞”“かがやき賞”“キダーキッズ賞”も選考いたしました。

来期もインターナショナルプリスクールらしい第2回作文コンクールを予定していますので、より多くの皆さんの応募をお待ちしています。



受験・学習課 上席主任
篠田久美子

【入賞者一覧】



【絵日記の部・最優秀賞】
R.Mちゃん(たまプラーザ校・K2)



【作文の部・最優秀賞】
Y.Kくん(高槻校・K3)

- 【絵日記の部・優秀賞】
M.Tくん(八尾校・K2)
- 【かがやき賞】
S.Tくん(豊中校・K3)
E.Iちゃん(堺校・K3)
Y.Tくん(西宮校・K3)
S.Oちゃん(登美ヶ丘校・K3)
R.Bくん(品川校・K3)
K.Yくん(堂島校・K3)
K.Kくん(京都校・K3)

- 【キダーキッズ賞】
N.Iちゃん(京都校・K3)

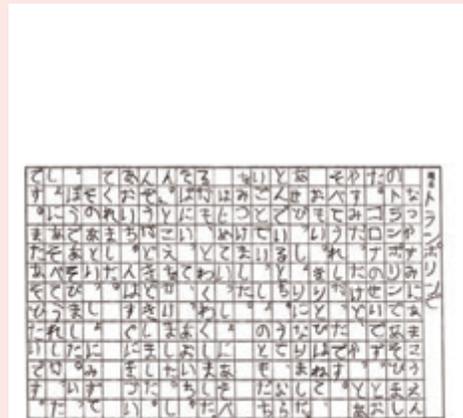
- 【絵日記の部・優秀賞】
R.Iちゃん(大阪本校・K3)
- 【はばたき賞】
C.Hちゃん(東大阪校・K2)
K.Nくん(宝塚校・K2)
K.Mちゃん(大阪本校・K2)
H.Hくん(福岡校・K1)
Y.Nちゃん(神戸シーサイド校・K2)
S.Tちゃん(堺校・K2)

- 【Tweet賞】
A.Uくんのお母様(登美ヶ丘校・K3)

※「Tweet賞」は保護者の方のつぶやき作品に送られる賞です。



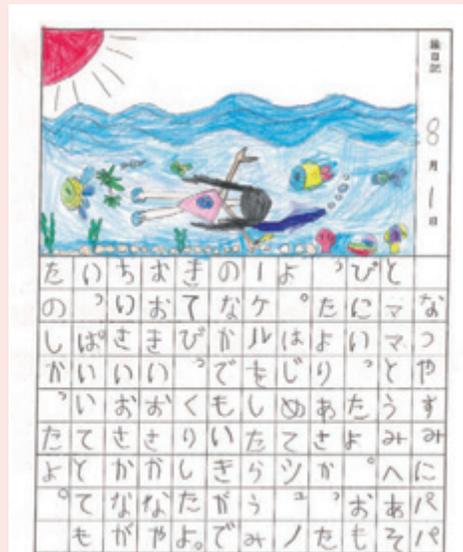
【絵日記の部・最優秀賞】
R.Mちゃん・たまプラーザ校・K2



【作文の部・最優秀賞】
Y.Kくん・高槻校・K3



【絵日記の部・優秀賞】
M.Tくん・八尾校・K2



【絵日記の部・優秀賞】
R.Iちゃん・大阪本校・K3